

2019年 大 発 会

1月4日、2019年のスタートを切る大発会を行いました。

福岡市内の会員証券会社の方々をはじめ、市場関係者約70名の皆様にご出席をいただきました。小田原理事長が年頭の挨拶を行い、引き続き理事長の音頭により、証券市場が益々活況を呈しますよう祈念して、吉例の「博多手一本」を入れました。



最後に、坂口理事（西日本シティT T証券株式会社 代表取締役社長）の音頭により威勢よく、乾杯を行いました。



理事長挨拶 (2019年大発会)

理事長の小田原でございます。皆様新年明けましておめでとうございます。本日、このようにたくさんの市場関係者の皆様にお集まり頂き、2019年福岡証券取引所の大発会が開催されますこと、誠に有難く厚く御礼申し上げます。

本年は30年余り続いてきた「平成」の時代が終わり、新元号の新たな時代の幕開けとなります。東京オリンピック・パラリンピックをいよいよ来年に控えた本年ですが、本年もラグビーのワールドカップが日本で開催され、九州各地でも熱戦が展開されます。熊本では、女子ハンドボール世界選手権大会が開催されます。又、G20の首脳会議が大阪で、G20の財務大臣・中央銀行総裁会議がこの福岡の地で開催され、世界から日本が注目される又、世界から九州が注目される1年になると思います。

新年といえば「干支」の話になりますが、今年の干支は「己亥」（つちのとい）です。一般的に「亥」は「無病息災」の象徴といわれています。今年こそ「災」（わざわい）のない年になってほしいと思います。また、相場の格言では、「亥固まる」だそうです。飛躍に向けて「内なる充実を図る」ということだと思います。

「亥年」の過去5回の相場をみてみますと、4回がプラス。そのうち3回は2割以上も上昇し、好調な年が多いということですので是非期待したいと思います。

さて、本年の国内情勢ですが、景気は緩やかに回復してきていますが、10月には消費税の増税が予定されています。増税による景気の腰折れを防ぐため種々対策が検討されていますが、効果的対策が打たれ、景気的好調さが維持されるよう願っています。

一方、海外の情勢ですが、昨年から継続していますが、米中の貿易摩擦、ハイテク分野の争い等々、世界経済、ひいては日本の企業活動にも影響を及ぼしかねない状態が続いていますが、各国がお互いに信頼し、協調することで世界経済の安定が図られるよう願っているところです。

証券市場で見ますと、昨年後半は、先ほど申し上げました状況もあり、低調に推移し、年末には一時2万円割れとなる状況でした。しかしながら本年は、新元号という明るい年であり、国際的ビッグイベントも日本で開催され、世界が

ら日本が注目され、来年に向けオリンピックムードも高まり大いに盛り上がってくると思います。

この盛り上がりの波に上手く乗り、企業活動が活発に行われ、日本の株式市場が旺盛な1年となるよう期待したいと思います。

私共福証は、本年70周年を迎えます。地方取引所として、地域経済の活性化の一翼を担っているという自覚のもと、その役割を十分に果たして参りたいと思っています。「市場の信頼性の維持・向上」をベースとして、地域の投資家の皆様に多数参加いただき、「取引の活性化」を図るとともに、地域の各機関とも連携して、地域の企業・ベンチャー企業の「新規上場の促進」に努めて参りたいと思います。

皆様方には今年もどうか福証に絶大なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。大発会での挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞ宜しくお願いいたします。